

横浜市社会教育コーナー 令和6年度事業計画案

2024/03/22作成

事業実施の方針

市民が社会参加をしながら地域の課題をみつけ、主体的に課題を解決し、豊かな人生を送ることを目指します。社会教育施設として「学び」による地域づくり、つながりづくり、人づくりを推進します。

	事業名	目的	内容	回数	募集人数	収入	支出	
<b>事業の目標1</b> <b>社会参加</b>  <b>主体的な参加の</b> <b>きっかけづくり</b>	社会教育の場の運営	横浜市内を中心に各機関・施設・団体等の情報の収集・整理・発信を行い、市民や団体へ幅広く社会参加につながる情報の提供をし、社会参加のすそ野の見える化をすすめる	利用者が主体的に活動にかかわれるよう、挨拶や声かけなど職員が利用者とのコミュニケーションを積極的に図り、風通しの良い意見の言いやすい関係を構築する。研修室・アートルーム・スポーツ広場等の適切な管理と充実した運営を職員全員で行う	随時				
	ホームページの管理		自主事業をはじめ市内機関・施設・団体のイベントや講座情報をTwitterにて掲載し広く周知する	随時				
	メールマガジンの発行		ホームページに掲載した情報を中心に機関・施設・団体等の各種情報を登録者に定期的に配信提供する。月1回発行	12				
	ブログ・X(旧ツイッター)・インスタグラムの配信		社会教育や学習に関する身近な情報をブログで発信し、社会教育や学習に関心をもってもらうきっかけとする。若者に親近感をもってもらう発信内容にする	随時				
	掲示板や館内掲示の充実		コーナー前の歩道に設置されている掲示板を一部開放。又、館内の壁、配架ラックに市内機関・施設や団体のイベントや講座のポスターやチラシを配架・掲示する	随時				
	相談・コーディネート		専門の職員(社会教育士やコーディネーター)を配置し、市民の社会教育や生涯学習に関する相談、生涯学習関係職員の相談にきめ細やかに対応する	相談者の学習活動が活発になるようICTも活用しながら、助言や必要な情報を提供する。また、相談内容の記録を蓄積し内部で共有することにより相談業務を円滑に進める	随時			
	読書活動による社会参加場づくりと交流		おはなし会ボランティア養成講座修了生や地域・学校で読み聞かせやおはなし会をしている人たちに実践の場を提供	幼児から大人を対象に「おはなしの国」を実施。併せて実践者同士の交流を行う。【共催事業】	9	10		
	親子の広場		乳幼児をもつ親同士がともに子育てや社会的課題について学びと共につながり、仲間づくりや社会参加の一歩を支援	楽しい雰囲気の中で手遊びや歌遊びを行うことで、交流を深め、顔見知りを作る機会とする。活動団体との【後援事業】	10	20		
<b>事業目標2</b> <b>つながりづくり</b>  <b>多様な主体との</b> <b>連携・協働の推進</b>	学校・地域コーディネーターのネットワークづくり	学校と地域をつなぐ学校・地域コーディネーターが活動しやすい環境づくりを支援する	交流・情報交換会を実施し、課題を共有し、ネットワークづくりや専門スキルの提供の他、伴走支援を行う。また、区の担当課との連絡、調整、連携を強化していく	3	10	0	18,000	
	図書館と市民活動・生涯学習支援センターの連携支援	図書館と市民活動・生涯学習支援センターが連携できるようコーディネートすることにより、双方の強みを生かした事業の実施を支援する	市内の図書館と区民活動支援センターが連携した事業を市民向けに行うことで、市民の継続した学習や活動に向かう	随時				
	紙芝居等を用いた交流会	横浜市内各区にある昔話やそれを元に作成した紙芝居をツールにした交流会や相互学習を行う機会の提供	横浜の昔話を題材した紙芝居・影絵等を持ち寄り、実演発表しあうことで、活動者が区を超え横浜の物語に触れる機会をつくる(「読書活動推進プロジェクト」)【共催事業】	1	20	0	0	
	磯子区NPO連絡会への参画	磯子区内のNPOと連携して事業を企画運営することにより、磯子区の様々な市民活動を活発にする	磯子区NPO連絡会と連携した取組の実施。いそご区民活動支援センターと共催する地域活動フォーラムに取り組む	6				

	磯子区館長連携会への参画	磯子区内の施設の連携と情報共有をすすめる	磯子区内の施設長が情報交換や連携を図り、協力していそびゴールデンウィークを開催	6			
事業目標3 人材育成 地域の学びと活動を 活性化させる人材の育成	社会教育・生涯学習関係職員への 対応・サポート	学習支援活動のための環境整備や主体的に活動する市民の育成など、学習を支援する職員としてのスキルアップをサポートする	各区支援センターや関係機関が抱える具体的な課題等について、必要に応じ、適切な解決が図られるよう支援を行う	随時			
	よこはま社会教育士 ネットワーク交流会	社会教育士の学びあうコミュニティを支えるために情報・交流と力量形成に役立つ場を提供をする	参加者が社会教育士の役割を担えるよう、それぞれが企画を持ち込み、実際にやってみる場とする。あるいは、自身の実践の発表をすることで実践のふり返りを行い、気づきを共有し力をつける場とする。ICTも活用していく【共催事業】	8	15		
	社会教育士を目指す人の育成	地域の学びを支える社会教育士を目指す人のための人材育成講座。受講者が講座終了後、各区で学びを支援する担い手として活動できるようになることを目指す	社会教育士について理解を深め、ファシリテーション・プレゼンテーション・コーディネートの各能力を身に着ける講座を実施。具体的にはこれらの能力を用いて地域の課題をみつけ、解決のための企画や講座プログラムづくりについてグループワークを通して学び合う	4	20	40,000	65,000
	若者の社会参加 若者企画体験プロジェクト	若者(学生・企業人)が集い、自由な発想で活動できる場をつくり、プロジェクトを通して地域の異なる世代の人と関わる機会をもつ	プロジェクトメンバーで交流をしながら、テーマを設定し学び合い、まちづくりに関する講座やイベントの企画体験をする。活動団体や学校などにも声をかけ、青少年や若者がコーナーを利用し学びあい、地域づくりの力をつける	3	10	0	57,000
	地域活動の担い手育成	市民活動団体の会議や市民企画事業の会議など、会議ファシリテーションについて学び、地域づくりの実践的な力をつける	市内で生涯学習、社会教育、市民活動に関心を持つ市民が、ファシリテーションの目的や技術を学び、学んだことを地域で活かし、学び続けるきっかけとする	1	20	20,000	45,000
	子どもアドベンチャーカレッジへの 参加	市内の小学生を対象に「主体的・対話的で深い学びのきっかけづくり」と「社会参加のきっかけづくり」の場と機会を提供する	社会教育士について知り、私たちのまち・暮らしの中にあるさまざまな課題に触れるきっかけとする。「みんなが笑顔で暮らせるまちを考えよう」をテーマに自分たちができることを考える	1	20	0	10,000
	地域防災 防災から考える地域づくり	専門家と連携し市民の「地域防災」をテーマに社会人が集い、地域づくりに貢献する	災害ボランティア団体や専門家と連携し、日頃から防災に必要なこと、実際に起きた際の行動などについて学び、地域づくりに活かしていく【後援事業】	3	20	0	45,000
地域課題への 取組み	困難を抱えた子どもたちへの 学習支援	学習障がいを抱えたり、様々な理由で学習の遅れが生じている子どもの支援をする	社会的課題支援事業として位置づける。毎週実施し学習の継続性を担保していく【後援事業】	40			
	発達thatがかりな子どもをもつ 保護者のピアカウンセリング	発達thatがかりな子どもをもつ保護者の仲間づくりの場を提供する	発達thatがかりな子どもをもつ保護者同士のピアカウンセリングの実施【共催事業】	10			
	多文化共生社会への意識づくり	いそご多文化共生ラウンジと連携して、地域の外国人と日本人が集い、相互理解を深める	卓球やテニス等の運動を通して、一緒に活動しながらコミュニケーションを取り合いながら、お互いの理解を深めていく【共催事業】	12	10		
その他の取組み	利用者会議	登録団体による利用者会議を実施し、意見交換の内容を管理運営に生かすことで、市民による市民のための施設を目指す	利用者会議での内容や結果を施設内やHPで公表し情報公開の徹底を図る	1			
	アンケート	コーナーを利用する団体や事業に対してアンケートを行う	利用団体や事業に対してアンケートを行うことで日頃のニーズやコーナーへの要望など把握し、施設の運営や事業にいかしていく	1			
職員研修	生涯学習・市民活動に関連する 自主研修の設定および外部研修 への参加	基礎研修の他、生涯学習や社会教育について、当団体のアドバイザー等による専門的な知識、スキルアップのための研修を行う。また、職員の外部研修等への積極的な参加を促す	職員研修を重ねることで、社会教育コーナーの設置目標に向かって専門性を高める。各区関係部署との連携を深める	随時			
						60,000	240,000

## 令和6年度 社会教育コーナー管理業務収支予算書案

科 目		内 訳	予 算 額
項 目	指定管理料	人件費・管理費等概算	13,418,000
	利用料金収入	施設利用料・付帯設備利用料（ピアノ・ロッカー・その他）	3,800,000
	事業収入	自主事業（事業計画案参照）	60,000
	その他の収入	コピー・印刷、自販機手数料等	262,000
	受取利息		
	法人より		674,000
収入合計（A）			18,214,000
項 目	人件費	職員給与、法定福利費（社会保険料等）、通勤費	12,380,000
	事務費	消耗品、印刷製本費、通信費、備品購入費、保険料、リース代など	1,225,000
	事業費	自主事業費より、講師謝金、その他の経費	240,000
	管理費	水道光熱費、清掃費、修繕費、機械警備費、設備保全費、共益費等	3,239,000
	租税公課	法人税80000、消費税800,000	880,000
	事務経費 当該施設分	会計士・社労士顧問料按分金額	210,000
	ニーズ対応費	ピアノ調律費	40,000
支出合計（B）			18,214,000
収支差額（A）－（B）			0

## 令和6年度 「横浜市社会教育コーナー」 収支予算書及び報告書

## 収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	13,418,000		13,418,000		13,418,000	横浜市より
横浜市による運営支援					0	
利用料金収入	3,800,000		3,800,000		3,800,000	
振込分					0	
自主事業収入	60,000		60,000		60,000	
雑入	262,000	0	262,000	0	262,000	
印刷代・ロッカー	140,000		140,000		140,000	
自動販売機手数料	20,000		20,000		20,000	
自動販売機電気料・目的外使用	100,000		100,000		100,000	
その他( シャワー )	2,000		2,000		2,000	
受取利息	0		0		0	
法人より	674,000		674,000		674,000	
<b>収入合計</b>	<b>18,214,000</b>	<b>0</b>	<b>18,214,000</b>	<b>0</b>	<b>18,214,000</b>	

## 支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>12,380,000</b>	<b>0</b>	<b>12,380,000</b>	<b>0</b>	<b>12,380,000</b>	
給与・賃金	11,700,000		11,700,000		11,700,000	日勤・夜勤スタッフ
社会保険料	400,000		400,000		400,000	
通勤手当	280,000		280,000		280,000	
健康診断費	0		0		0	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
<b>事務費</b>	<b>1,225,000</b>	<b>0</b>	<b>1,225,000</b>	<b>0</b>	<b>1,225,000</b>	
旅費	2,000		2,000		2,000	
消耗品費	180,000		180,000		180,000	モップ、蛍光灯、衛生用品
会議随費	0		0		0	
印刷製本費	180,000		180,000		180,000	利用許可証、リソインク代、マスター代、コピー代
通信費	350,000		350,000		350,000	
使用料及び賃借料	41,000		41,000		41,000	
横浜市への支払分	41,000		41,000		41,000	自販機目的外使用
その他	0		0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	10,000		10,000		10,000	月刊社会教育
施設賠償責任保険	30,000		30,000		30,000	
サイバーリスク保険	40,000		40,000		40,000	
職員等研修費	5,000		5,000		5,000	
振込手数料	20,000		20,000		20,000	
リース料	312,000		312,000		312,000	レンタルパソコン、コピー機、印刷機
ホームページ運営費	55,000		55,000		55,000	HP更新費
地域協力費	0		0		0	
<b>事業費</b>	<b>240,000</b>	<b>0</b>	<b>240,000</b>	<b>0</b>	<b>240,000</b>	
自主事業(指定管理料充当の自主事業)費	0		0		0	
自主事業費	240,000		240,000		240,000	
<b>管理費</b>	<b>3,239,000</b>	<b>0</b>	<b>3,239,000</b>	<b>0</b>	<b>3,239,000</b>	
光熱水費	1,580,000		1,580,000		1,580,000	
電気料金	1,400,000		1,400,000		1,400,000	
ガス料金	0		0		0	
水道料金	180,000		180,000		180,000	
清掃費	1,017,000		1,017,000		1,017,000	朝清掃(週4日)、定期清掃(年6回)
修繕費	300,000		300,000		300,000	
機械警備費	145,000		145,000		145,000	
設備保全費	171,000	0	171,000	0	171,000	
空調衛生設備保守	0		0		0	
消防設備保守	81,000		81,000		81,000	消防設備点検(総合・機器)、防火対象点検
電気設備保守	40,000		40,000		40,000	自動ドア
害虫駆除清掃保守	0		0		0	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	50,000		50,000		50,000	建物設備点検(年3回)
共益費	26,000		26,000		26,000	
<b>公租公課</b>	<b>880,000</b>	<b>0</b>	<b>880,000</b>	<b>0</b>	<b>880,000</b>	
事業所税			0		0	
消費税	800,000		800,000		800,000	
印紙税			0		0	
その他(法人税)	80,000		80,000		80,000	法人税
<b>事務経費(計算根拠を説明欄に記載)</b>	<b>210,000</b>	<b>0</b>	<b>210,000</b>	<b>0</b>	<b>210,000</b>	
本部分			0		0	
当該施設分	210,000		210,000		210,000	会計士・社労士顧問料按分金額
二一ズ対応費	40,000		40,000		40,000	ピアノ調律
<b>支出合計</b>	<b>18,214,000</b>	<b>0</b>	<b>18,214,000</b>	<b>0</b>	<b>18,214,000</b>	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入	60,000				0	
自主事業費支出	240,000				0	
自主事業収支	△ 180,000				0	

管理許可・目的外使用許可収入					0	
管理許可・目的外使用許可支出					0	
管理許可・目的外使用許可収支					0	

## 令和6年度 資金計画表

(単位:千円)

	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
	収 入	指定管理料	1,208	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110
利用料金収入		750	330	320	320	310	310	310	310	310	310	140	80	3,800
自主事業収入				40			20							60
その他収入(印刷代等)		70	14	12	12	70	12	12	12	12	12	12	12	262
法人より													674	674
各月收入合計(A)		2,028	1,454	1,482	1,442	1,490	1,452	1,432	1,432	1,432	1,432	1,262	1,876	18,214
支 出	人件費	1,050	1,030	1,030	1,030	1,030	1,030	1,030	1,030	1,030	1,030	1,030	1,030	12,380
	事務費	103	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	1,225
	事業費		15	67		10		20	50	58	15	5		240
	管理費	270	270	270	270	270	270	270	270	270	270	270	269	3,239
	租税公課												880	880
	事務経費												210	210
	ニーズ対応費		20					20						40
各月支出合計(B)		1,423	1,437	1,469	1,402	1,412	1,402	1,442	1,452	1,460	1,417	1,407	2,491	18,214
収支差額(A-B)		605	17	13	40	78	50	(10)	(20)	(28)	15	(145)	(615)	